

2014年度 手賀沼船上調査【魚貝類、プランクトン類】

手賀沼水生生物研究会

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 根戸下 | 7. ハス繁茂帯内 |
| 2. 大津川河口 | 8. ハス繁茂帯外 |
| 3. 大津川ワンド | 9. 岩井新田 |
| 4. 沼南園 | 10. ピオトーブ下 |
| 5. 親水広場棧橋 | 11.フィッシングセンター棧橋 |
| 6. 温泉排水口 | 12. 曙橋南岸 |

手賀沼水生生物研究会では、2014年度は3回船上調査を行った。
6月1日の調査は2艘で行い、主に水質、生物調査(魚類、貝類、プランクトン類)のついて行った。プランクトンや魚類の生息状況の違いを比較した。また今まで未調査域の水路の調査も実施した。

6月1日(日)	4	4 水路	6	6 水路	12	12 水路	5
時刻・水温	9:30 27℃	9:30	10:30 27.9°	10:30	13:30 26℃	####	11:34 25℃
透視度(cm)	21cm		21cm				
モンドリ (6) 30分	0	0	0	0	モツゴ:1、スジエビ:5	0	
がさがさ		フナ、タイクバラタナゴ ヨシノボリ、ドジョウ		フナ、スジエビ、ハゼ科の魚 ハゼ科の魚、メダカ		モツゴ、スジエビ、フナ	
ケイソウ類	少ない。		少ない。		ヒメマルケイソウ類が多い		少ない
藍藻類	ユレモ少し。		少ない。		ユレモ目立つ		ユレモ>ミクロキスティス類
緑藻類	ユードリナ>クンショウモ				クンショウモ>ユードリナ、ミドリムシ類		クンショウモ類、ユードリナ
動物プランクトン	ツボワムシ		ワムシ>ミジンコ> シカノウプリウス>ユスリカの幼虫		ワムシ:ハネウデワムシ>ツボワムシ>ミジンコ類		ツボワムシ

9月6日の調査は2艘で行った。
魚類調査では、主にモンドリを使用し、特徴的な各地点で魚類の定量調査を実施した。水温が高いこの時期はモンドリを使用した調査には適していて例年多くの魚を確認できる。船から降りられる調査場所ではサデ網によるガサガサもおこなった。魚の着き場所が昨年と違った。昨年多く捕れた場所が少なく、年ごとに魚の付き場所が違う傾向が見られた。ハス繁茂帯では、2艘に分かれて、30分づつ調査を行った。ハス繁茂帯内側は例年にない大漁。

9月6日(土)	5	1	10	11	7	8	6
時刻・透視度(cm)	8:30 20.5°	9:20~9:50	9:20:23.5°	10:55~11:25	12:00~12:30	13:20~13:50	13:20~13:50
透視度(cm)	20			11:18:26℃		11:53:27℃	
モンドリ (6)(6)30分		(6)(6)	がさがさ	(6)(6)	がさがさ	モンドリ (6)	モンドリ (6)
モツゴ		26(沖)97(岸)	○	226	○	131	498
タイクバラタナゴ		11	○	2	○	23	
スジエビ		○多数	○	20	○		17
テナガエビ		15	○	○	○		
ヨシノボリ		○	○	○	○		
ヌマチチブ		○	○	○	○		
ツチフキ		1	○	1	○		1
ゴイ				1	○		
アメリカザリガニ							
ブルーギル					4		2
ケイソウ類		少ない。		少ない。			ヒメマルケイソウ類
藍藻類		ユレモ		少ない。			ユレモ
緑藻類		緑藻類		少ない。			クンショウモ
動物プランクトン		ハネウデワムシ> ミツツノワムシ>オニトゲワムシ		ワムシ、根戸下と同パターン		ワムシ、根戸下と同パターン	ワムシ:ハネウデワムシ> ツボワムシ>ミジンコ類

3月7日の調査は、2艘で行った。
この時期は水位が低く、透明度も高いため貝類の調査に向いている。当日は天候は小雨が時折降る寒い中での調査であったが、風がないため沼の水の透明度が20cm以上あり、貝の調査には大変いい条件であった。貝類の生息に適した各地点の底質が昨年に比べてヘドロが少なくなっていて改善している印象があったが、今回発見できたのは貝殻が多く、ごく小さい貝殻もあり、それもごく最近死んだ貝である可能性が高い。手賀沼フィッシングセンター沖のオダでは、ハクレンの群れのジャンプを見ることが出来た。この時期のハクレンの着き場である可能性。またこの近くで、ごく新しいカラスガイ貝殻を発見。

3月7日(土)	2	1	3	6	10	9
ドブガイ生体	3人30分	4人30分	4人26分	4人30分	5人30分	5人40分
ドブガイ貝殻	○	○ 1	○		○ 1	○ 1
カラスガイ貝殻		○			○	○
カダヤシ				○ 4		
スジエビ				○		
ヌマチチブ				○		
ヨシノボリ				○		
ケイソウ類	ササノハケイソウ、フナガタケイソウ エスジケイソウが多い			クサリケイソウの動き 活発(秋の動きに近い)	クサリケイソウは少ない。 他の種類のケイソウ	フナガタケイソウの仲間。 クサリケイソウは少ない
藍藻類	ユレモが目立つ。			少ない	少ない	ユレモ、ミスモペディア がわずかに。
緑藻類	非常に少ない			少ない	少ない	ミカヅキモ>クンショウモ
動物プランクトン	ワムシ、ミジンコともに少ない			泥の中に棲むもの。 ラッパムシ、繊毛虫類 ミズ、イタチムシ	種類は多い。 繊毛虫、鞭毛虫	ワムシ、シカクミジンコ、 ケナガミジンコ、クマムシ ミズ、センチュウ。